

質問状

2024 年 12 月 18 日

名古屋市長 広沢 一郎 様

相生山の自然を守る会

代表 近藤 国夫

info@aioiyama.org / <http://w.w.w.aioiyama.org/>

相生山緑地を考える市民の会

共同代表 福井 清

外波山 節子

info@aioiyama.info / <https://www.aioiyama.info/>

相生山緑地を一塊の大きな自然として残し、名古屋市民の財産に！

大都市に残された「ヒメボタルが乱舞する相生山緑地」、私たちの生活を豊かにする大きな自然、この自然を守り、育て、次世代の人びとに手渡すことが私たち世代の役割と考えます。気候変動問題が深刻な今、自然の重要性が益々叫ばれている中、「自然の保全」は待ったなしの課題であり、如何に実行していくかが問われています。相生山緑地を横切る弥富相生山線に関しても然りです。相生山緑地が将来にわたり名古屋市の財産となるための展望について、新市長にお尋ねいたします。相生山緑地が抱える問題を下記の様に大きく 3 点に分けてお聞きしますので 2025 年 1 月 10 日までにご回答をお願い致します。

記

I. 気候危機の今、相生山緑地を一塊りの自然として残すことこそが名古屋市の施策に適うことではないでしょうか？

気候危機の今、SDGs 未来都市に選定された名古屋市においても地球気候変動の具体的な対策に取り組む時として「名古屋市地球温暖化対策実行計画 2030」・「生物多様なごや戦略実行計画 2030」等が策定されています。長期の取り組みとしては「低炭素都市 2050 なごや戦略」・「生物多様性 2050 なごや戦略」・「水の環復活 2050 なごや戦略」なども策定されております。相生山緑地は生物多様性・生態系の観点からも道路や施設で分断されることなく、一塊として守られることがそれに適うものと考えますが、お考えをお聞かせください。

Ⅱ.「弥富相生山線の廃止」はどのように進められるのですか？

相生山緑地を横切る都市計画道路「市道弥富相生山線」が2014年12月に河村前市長によって「廃止表明」されました。これは「市民による住民意向調査」（市道弥富相生山線を考える市民の会）の調査結果に示されている70%以上が道路ではなく「緑地」を選んだ名古屋市民の意向に沿ったものでした。以後、「世界のAIOIYAMAプロジェクト検討会議」にて廃止作業・整備計画を進めるとしていましたが、10年経過した現在も正式に廃止されていません。都市計画道路が決定された67年前の当時と時代は大きく変わり、今は地球温暖化、人口減少などによる環境・社会への課題が突きつけられています。

弥富相生山線の道路建設に係る問題を整理しますと以下の様に考えられます。

- ① 道路新設による「必要な短縮なのか？」・「効果ある短縮なのか？」との基本的な問題が市民と共にどれだけ検証されてきたのか？
- ② 相生山緑地がグリーンインフラの重要性からどのように検証がされてきたのか？
- ③ 道路建設の目的とした渋滞解消は今や、島田・野並の車線の増設で緩和されています。
- ④ 67年前の当時と比べれば、相生山緑地周辺の道路は十分に整備され、もはや弥富相生山線の終点は「久方」ではなく「下山畑」までで役割を果たしていると考えられます。
- ⑤ 防災拠点とされる相生山緑地に繋がる道路は、既に幹線道路を始め複数できています。

これらより、早急に都計審で廃止決定し、その後相生山緑地全体としての整備計画が市民との協働で進められることが順当であると考えますが、お考えをお聞かせください。

Ⅲ.「折衷案」は市民の合意の上で作成されてはいません。まずは、市民・行政・議会・専門家が同じテーブルで話し合う必要があるのではないのでしょうか？

「弥富相生山線に関する意見聴取会」が8～9月に行われ、「折衷案」として動画3案が示され、経緯やWEBアンケートの結果等の資料の説明がされました。しかし、その聴取会の記録によれば、「折衷案」そのものに対して疑義を抱かせる内容になっており、市民との合意がないままに進めた行政の姿勢が問われる結果となっています。

「折衷案」に関する点と「意見聴取会」を終えて今後の進め方等について以下の様にお尋ねします。

A) 「折衷案」に関する質問

- ① 「折衷案」のいきさつを学術検証懇談会での学識者の発言を挙げていましたが、市民との合意の上、折衷案の作成に至ったのでしょうか？お尋ねします。
- ② 「折衷案」は、何と何の「折衷」なのかの説明が未だありません。改めてお尋ねします。
- ③ 動画3案で示された「折衷案」はいずれも当初の道路建設に合わせた案になっていますがこれは、園路ですか？道路ですか？お答えください。
- ④ また、動画3案とも既存の散策路沿いの沢が川のように描かれています。現状とは全くかけ離れており、相生山緑地の自然が誤って伝わります。どのような意図があったのでしょうか？お聞かせください。

- ⑤ WEB アンケートの結果を「市民意識調査」として資料に載せていますが、WEB アンケートでは「市長の廃止表明」や「折衷案」が全く言及されていません。また、「道路（弥富相生山線）は必要ない」との選択肢がないままに行われていますが、なぜこれが「市民意識調査」と言えるのかお聞かせください。
- ⑥ 相生山緑地は里山として、既存の散策路や生活道路があります。なぜこれらを利用する案が示されないのか、お考えをお聞かせください。

B) 「意見聴取会」を終えて今後の進め方についての質問

- ① 「意見聴取会の記録」や「意見シート」には様々な疑問・質問などが出されていました。これらに対してどのようにお考えか、お聞かせください。そして全て公開してください。
- ② 前市長が「廃止表明」してから 10 年も経っていますが、未だ市民・行政・議会そして専門家が一同に会して「相生山緑地の道路問題」の話し合いの場が設けられていません。社会状況、地球環境の下、私たちの生活の質の向上から「道路の必要性」や「緑地の重要性」について語り合う必要があると思いますが、お考えをお聞かせください。
- ③ 市民との合意方法をどのようにお考えか、お聞かせください。また合意に向けてのスケジュールをお聞かせください。

以上